

令和6年度（3学年用）

教科 家庭科

科目 家庭総合

教科：家庭科

科目：家庭総合

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1組：樋口）（2組：芝野）（3組：芝野）（4組：芝野）（5組：中根）（ 6組：樋口）

使用教科書：（「家総703家庭総合」 実教出版）

教科 家庭科

の目標：

【知識・技能】人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえる。

【思考力・判断力・表現力】生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定する。

【主体的に学習に取り組む態度】さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組む。

科目 家庭総合		の目標：
【知識・技能】	【思考力・判断力・表現力】	【主体的に学習に取り組む態度】
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかかわりについて理解を深める。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現する。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとする。

	単元	指導項目・内容	知	思	主	配当 時数
1 学 期	第1 章 これからの人生について考えてみよう 1節 自分の未来予想図を描いてみよう	・ライフステージにおける発達段階について学び、現在の自分の課題を考える。	○	○	○	6
	2節これからの人生をデザインする	・人生をデザインするうえで必要な準備を考え、シュミレーションする。 ・生涯にわたる生活設計を考える。	○	○	○	8
	定期考査					
	第2章 自分らしい生き方と家族 3 節 共にいきる家族 4節 家族に関する法律	・家族の条件、ライフイベントについて考える。・家族の抱える問題について学び、具体的なサポートのあり方について考える。	○	○	○	14
	第8章 住生活をつくる 2節 住まいの文化 3節 住まいを計画する	・現代の暮らしにいかすことができる和の住文化をまとめる。・快適な住まい方を考え、平面計画をたてる。	○	○	○	8
	定期考査		○	○		1
2 学 期	第4章 高齢者とかかわる 1 節 高齢社会に生きる 2 節 高齢者を知る	・これまでの高齢者とかかわりを振り返る。・高齢者についてのイメージをまとめる。・高齢者の生活場면을体験する。・高齢社会の現状を知り、身近な問題としてとらえる。・高齢者の生活場면을体験する。 ・高齢者のイメージをまとめる。	○	○	○	10
	定期考査					
	第3章 子どもとかかわる 2節 子どもの発達 3節 子どもの生活	・子供の発達について考える。・絵本づくりや読み聞かせを通して、子どもの遊びの意義や課題について考える。	○	○	○	16
	定期考査		○	○		1
3 学 期	第10章 経済的に自立する 1節 暮らしと経済 2節 将来のライフプランニング	・適切な家計管理について考える。・長期的な経済計画について学ぶ。	○	○	○	6
	定期考査					

令和6年度（3学年用）

教科 家庭

科目 ファッション造形基礎

教科： 家庭

科目： ファッション造形基礎

単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1組～6組： 芝野

使用教科書：（ ファッション造形基礎（実教出版）

教科 家庭

の目標：

【知識・技能】被服に関わる内容を体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力・判断力・表現力】被服に関する課題を発見し、ファッションの造形を担う職業人として解決する力を養う。

【主体的に学習に取り組む態度】衣生活の充実を目指して自ら学び、ファッションの造形に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目	ファッション造形基礎	の目標：
【知識・技能】	【思考力・判断力・表現力】	【主体的に学習に取り組む態度】
被服の構成、被服材料の種類や特徴、被服製作などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	被服製作やデザインに関する課題を発見し、ファッションの造形を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	衣生活の充実を目指して自ら学び、ファッションの造形に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元	指導項目・内容	知	思	主	配当 時数
1 学 期	人体と衣服	・衣服に求められる着心地に良さを理解する。 ・平面構成衣服と立体構成衣服の特徴を理解し、サイズ表示を学ぶ。 ・体形の特徴や動作に応じた衣服の工夫を理解する。 ・手縫いとミシン縫いの基礎的技術を復習する。				
	洋服の製作	・ハーフパンツの製作をととして、洋服の形態を学ぶ。 ・採寸の手順、型紙の選択、地直し、裁断、縫製等に関する基礎的な事項を理解し、技術を習得する。	○	○	○	12
	衣服素材の種類	・繊維と繊維から作られる糸や布の種類と特徴について理解する。 ・環境に配慮した衣生活の取り組みに関心を持つ。 ・衣服製作の基本と衣服材料の選び方を学ぶ。 ・刺しゅうを通じて、手縫いの技術を向上させ、デザインに関心を持つ。				
	手縫いの応用と服飾手芸	・フランス刺しゅうの基礎とステッチの技術を習得する。 ・衣服素材の特徴を豊かな衣生活を創造する力を身につける。	○	○	○	12
	小テストおよび実技テスト					
2 学 期	衣服素材の性能と選択	・衣服材料の性能を理解し、衣服の性能への反映を理解する。 ・デザインや着用品など用途に合わせた衣服材料の選択を学び、取り扱いできる力をつける。				
	作業着の製作	・動作とゆとりを理解し、型紙を作成し、作業着を製作する知識と技術を習得する。 ・衣服素材の性能を理解し、適切な選択ができる力を身につける。	○	○	○	26
	服飾文化	・棒針の編み物の基本的に技術を身につけ、季節やTP0を理解した着装ができる。				
	小テストおよび実技テスト					
3 学 期	服飾文化と着装の工夫	・被服製作や素材、デザインを総合的に学んだことを活かして着装を工夫する力をつける。	○	○	○	20

令和6年度（3学年用）

教科 家庭科

科目 フードデザイン

教科： 家庭科

科目： フードデザイン

単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（樋口）

使用教科書：（「家庭703」 実教出版 フードデザイン ）

教科 家庭科

の目標：

【知識・技能】 栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなど理解し実践できる技術を習得している。

【思考力・判断力・表現力】 食生活の充実向上を目指して自ら課題を発見するとともに、家族や地域の実情に合わせてよりよい食生活を創

【主体的に学習に取り組む態度】 進んで学ぶ姿勢を持ちつつ、食材を適切に選択し作る作るところから食べるところまでを総合的にとらえて、

科目 フードデザイン

の目標：

【知識・技能】	【思考力・判断力・表現力】	【主体的に学習に取り組む態度】
栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなど、フードデザインに必要な要素を相互に関連づけて理解し、実践できる技術を習得している。	自ら課題を発見するとともに、家庭や地域の実情にあわせてより豊かな食生活を創造することによって、課題を解決できる。	進んで学ぶ姿勢を持ちつつ、食材を適切に選択し作る作るところから食べるところまでを総合的にとらえて、主体的に計画・実践することができる。

	単元	指導項目・内容	知	思	主	配当 時数
1 学 期	第2章 栄養素のはたらきと食事計画 節 栄養素のはたらき 1	・各種栄養素の特徴と体内ではたらき、代謝について理解させる。 ・アミノ酸評点パターン、アミノ酸スコアについて理解させる。	○	○	○	6
	6章 フードデザイン実習 節 献立作成 1	・調理上の基本的事項を習得し、調理実習や家庭生活の向上にいかせる。 ・段階的に調理技術の向上をはからせる。	○	○	○	8
	定期考査					
	第2章 栄養素のはたらきと食事計画 節 エネルギー 8	・エネルギー摂取量と必要なエネルギー量の算出方法を理解させる。・水とその他の栄養素について、役割やはたらきを理解させる。	○	○	○	14
	6章 フードデザイン実習 節 献立作成 1	・日常食、行事食など用途にあわせた献立作成ができる。 ・自分および家族の健康を考えた日常料理を知り、それが調理できる。	○	○	○	8
	定期考査		○	○		1
2 学 期	第4章 調理の基本 1 節 調理とおいしさ	・おいしさに関わる条件を知り、調理にいかせるようにする。 ・調理に関する基本的な知識を習得させる。	○	○	○	10
	定期考査					
	6章 フードデザイン実習 節 献立作成 1	・子供および高齢者のための調理について、調理上の配慮事項、調理方法、調味について学び、体験的に習得する。 ・食品の調理上の特性を知り、適切な調理を考える。	○	○	○	16
	定期考査		○	○		1
3 学 期	6章 フードデザイン実習 節 献立作成 1	・これまでに身に付けた知識を調理にいかし、手際よくつくることができるようになる。	○	○	○	6
	定期考査					